

# 応用生物資源学分野(次世代作物開発研究センター)

## イネゲノム情報を利用して農業・食料・環境問題を解決する

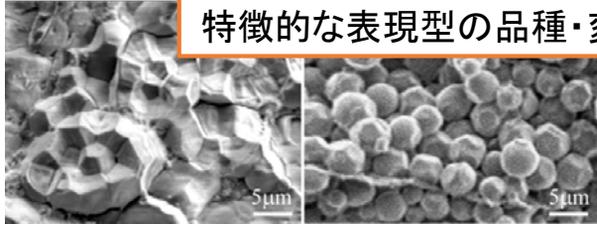
ゲノム・遺伝子情報は作物を大きく変える可能性があります。  
 私たちは世界のイネ品種が持つ問題解決に役立つ遺伝子を見つけて、  
 その働きを明らかにします。  
 見つけた遺伝子を活用した、新しい品種や育種手法の開発を目指します。

### 1) 世界のイネ品種がもつ有用遺伝子を特定

#### 遺伝子間ネットワーク解析

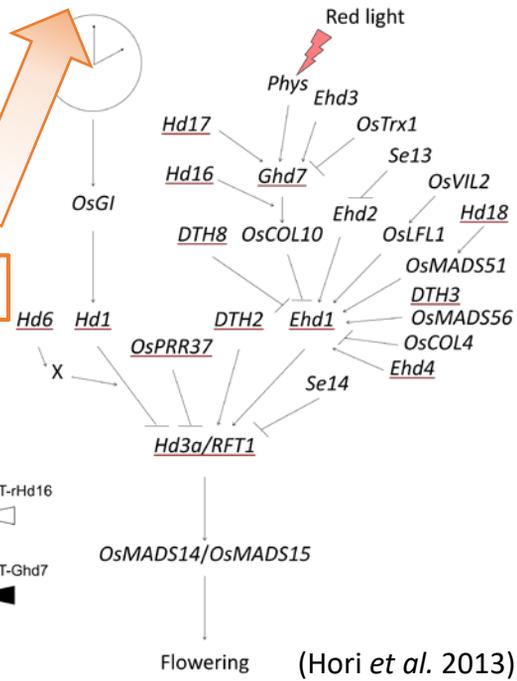
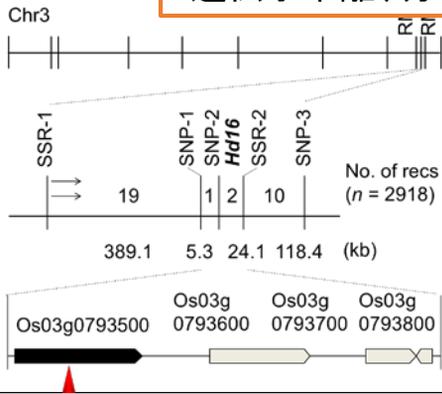
野生型 *wx/alk/ss3a/ss4b*

特徴的な表現型の品種・変異系統



(永松ら 2019)

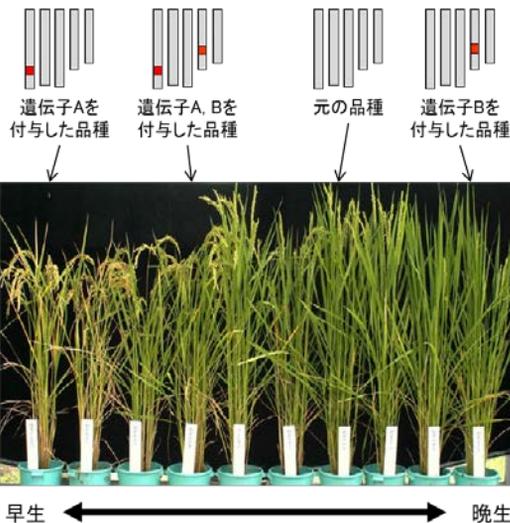
#### 遺伝子単離、分子メカニズムの解明



Flowering (Hori et al. 2013)

### 2) 特定した遺伝子を新品種育成に利用

#### 出穂期遺伝子を導入した新系統



コシヒカリの出穂期遺伝子導入系統のシリーズ

(Matsubara et al. 2014)

#### コメの澱粉改良による用途の拡大

